

(報 告) 令和 8 年度事業計画について

1. 令和 8 年度各部計画

【渉外推進部】

SERVICE DETAILS

4つのサービス内容の詳細

 巡回健診 × 産業医連携 健診から事後措置までシームレスにつなぐ健康管理体制	 事務代行サービス 煩雑な事務作業を一元化
✓ シームレスな連携：健診結果の統一判定、就業判定、職場巡視・個人面談までをサポート ✓ 継続モニタリング：有所見者のリスク分析による従業員管理 ✓ 専門職による支援：産業医・保健師が連携し対面またはオンラインでの確かな指導・フォローアップを実施 ■ 健診実施後の統一判定結果から就業判定 職場巡視・個人面談	✓ ワンストップ事務処理：予約・日程調整・結果集約・請求処理等の全プロセスを一元的に代行 ✓ 高精度なデータ管理：専門スタッフによるオペレーションにより高精度なデータ処理と運用体制 ✓ SLAに基づく品質保証：安定した納期・進捗管理 ■ 自社オリジナルシステム＋他社システム連携
 ネットワーク健診 全国対応・施設/巡回の柔軟な組み合わせ	 協業によるシステム連携 データ連携による高付加価値サービスの創出
✓ 全国のネットワーク活用：多拠点展開企業に対応 ✓ 多種健診の取り纏め：法定健診＋特殊健診の未受診者フォロー等 ✓ 医療機関連携：繁忙期や急な対応が必要な場合も調整・確保 ■ 法定健診＋特殊健診との取り纏めが可能	✓ セキュアなデータ連携：予約・結果・請求データのセキュアな連携 (API/CSV等) ✓ 運用フォローの最適化：企業ごとの健康経営課題に合わせた運用フローを設計し、全業連加盟機関とも連携して支援 ✓ セキュリティ：個人情報保護ガイドラインに準拠した運用 ■ 企業毎の健康経営の取り組みに合った運用のご提案

1) 既存顧客の保全と深耕

既存顧客のご担当者様からのご相談を一つ一つ丁寧にお聞きしつつニーズにあった対応を行ってまいります。

具体的施策：

- 定期的な訪問活動による信頼関係の維持・強化
- 顧客満足度調査の実施と改善活動
- 関連企業・関連事業場へのご提案
- 業種別健康課題に応じたオプション検査提案
- 勉強会の定期開催（四半期ごと）
- 顧客の健康課題分析に基づくカスタマイズメニュー提案
- 女性特有の健康課題対応（子宮がん・乳がん検診、骨粗鬆症検査等）

- 事務代行・産業医紹介等の付加価値サービス提案
- 適正価格への見直し交渉（燃料費・人件費高騰への対応）

2）事業推進部との兼務運用の展開

令和7年度下期より両部門兼務でのトライアル運用を実走し、兼務体制のメリットを最大限に活かした活動を展開してまいりました。令和8年度は、この実績を基盤として具体的活動に注力いたします。特に、巡回健診のお取引先様を主軸に据え、当協会が培ってきた健康診断事務代行、ネットワーク健診、外国人対応等の専門スキルを武器とした総合提案型営業を推進いたします。

3）新規活動の取り組み

昨今の健康経営推進、少子化対策による働き手不足、介護問題を背景に、当会として積極的に国に貢献できる取り組みを行い、健康寿命延伸に寄与する総合的な健康管理サービスを提供してまいります。

具体的提案先

- 従業員 500 名以上の広域事業所

具体的アクション

- 業種別・規模別・エリア別
- 計画的なアプローチスケジュールの策定
- 企業の健康課題に応じたカスタマイズ提案書の作成
- 経営層・人事部門・安全衛生部門への多面的アプローチ
- 実績資料・事例集の整備と効果的なプレゼンテーション実施

4）外国人従業員対応サービスの強化

外国人労働者増加に対応した多言語対応サービスを整備し、グローバル企業・製造業等へご提案してまいります。製造業・建設業・物流業等、外国人従業員を多く雇用する企業へ重点的に展開いたします。

対応体制：

- 多言語対応問診票の整備（英語・中国語・ベトナム語・タガログ語等）
- 翻訳アプリ・タブレット端末の活用
- 外国語対応可能な提携医療機関との連携強化
- 健診結果の多言語化対応
- 外国人従業員向け健康教育資料の提供

5）入札案件への積極的対応

公的機関・大手企業の入札案件情報を積極的に収集し、戦略的に応札してまいります。

対応方針

- 入札情報の早期把握と社内共有体制の構築と他部署との綿密な試算
- 適正価格での応札による受注確度向上
- 落札後の確実な履行と次年度継続受注への取り組み

6）施設健診の拡充

板橋区内および近隣地域の事業所に対し、施設健診センターでの受診を積極的に提案いたします。地域に根ざした医療機関としての認知度向上と、施設稼働率向上を両立させます

展開方針：

- 巡回健診の最低受診者数に満たない小規模事業所への施設健診提案
- 板橋区内約2万事業所へのアプローチ強化（近隣企業への訪問営業・DM送付）
- 施設健診とネットワーク健診の組み合わせ提案

7）グローバル化への対応強化

外国人従業員増加と企業のグローバル展開に対応したサービス体制を整備いたします。

国内外国人従業員対応：

- 多言語対応マニュアルの整備、翻訳アプリ・タブレット端末の配備
- 外国語対応可能スタッフの育成

海外展開企業対応：

- 海外日本企業のネットワーク健診ニーズ調査
- 海外赴任前・帰国後健診の実施体制整備

8) 労災二次健診の事業化

労災二次健診の巡回実施による新たな収益源確保を目指し、実験的な取り組みを本格展開に移行いたします。

展開計画：

- 令和7年度の実験的取り組み結果の検証
- 法的要件・効率性の最終確認
- 提案書・パンフレットの作成
- 対象企業へのアプローチ展開、段階的に対応先の取り込み

9) 少数精鋭の組織運営と効率化

限られた人員で最大の成果を上げるべく、組織運営の効率化を推進いたします。

効率化施策：

- 担当顧客の適正配分と業務負荷の平準化
- 営業支援ツール（CRM・SFA）、事務作業の標準化・マニュアル化

10) 価格適正化への取り組み

燃料費・人件費・輸送費・外注費の継続的な高騰に対応し、適正価格への見直しを推進いたします。

対応方針：

- 顧客毎の実施状況、効率的な運用管理
- 付加価値向上による価格交渉力強化

1 1) 情報収集と市場分析

令和9年度に向け、市場動向・競合状況の把握に引き続き務めてまいります。

活動内容：

- 顧客ニーズの変化把握
- 法改正動向、健康経営関連施策の情報収集

令和8年度は「令和9年度飛躍への助走期間」と位置づけ、他部署とも密接な連携を図り、既存顧客の保全と新規顧客の開拓を両立させ、持続的成長を実現する組織を目指してまいります。

【事業推進部】

SCENE BREAKDOWN

宇都宮ネットワークセンター

一般社団法人労働保健協会

Scene 01 巡回・施設の予約 ・被保険者 ・被扶養者	■ ・ e-mailアドレス対象者 ・ WEB予約、メール・ファックス予約 ・ 医療機関の取り纏め	事務代行を一元化 品質・スピードを両立
Scene 02 巡回・施設の結果 ・紙 ・CSV ・XML	■ ・ 全国の医療機関で受診された健診データの取り纏め ・ 特定保健指導の階層化 ・ 就業判定対象者の絞り込み	健診実施から産業医まで ワンストップで連携
Scene 03 特定保健指導 就業判定	■ ・ 対象者の絞り込み ・ 当グループ機関や東都大学の産業医・保健師等が対応	全国対応ネットワーク リモートやラインで可能
Scene 04 健診結果からの分析	■ ・ 特定健診の階層化 ・ 生活習慣病危険因子や他情報からの健康課題の抽出 ・ 経年変化や集団分析等	安全・確実なデータ連携

1) 健康診断事務代行サービスの拡販

巡回健診および健診周辺業務全般を包括的に受託することによる人事・総務部門の業務負担軽減を訴求ポイントとし、健診実施から事後措置までワンストップで対応できる体制を強みとしてアピールいたします。

※提供サービス（自社システム又は**提携企業連携**）

- 健診スケジュール管理・調整業務
- 受診者への案内・リマインド業務
- 結果送付・未受診者フォロー業務
- データ集計・分析レポート作成
- ストレスチェック実施事務代行
- 産業医面談調整業務

2) ネットワーク健診のさらなる活用

全国展開企業に対し、本部一括契約による全国事業所対応を提案いたします。

全国規模企業の本部担当者にとって、窓口一本化によるメリットの提言をさせていただきます。

※展開方針：

- 首都圏は当協会主導での巡回健診・施設健診実施
- 地方拠点はネットワーク健診活用による全国カバー
- 一元的なデータ管理・分析サービスの提供
- 被扶養者・任意継続者への対応も含めた総合提案

3) 提携先企業との連携

総務人事部での多様な人事課題に対応したご提案と戦略的な健康経営推進を支援いたします。

- 健康経営と障がい者雇用を組み合わせた企業価値向上提案
- 共同セミナー・勉強会の開催（実務者向け・経営層向け）
- 健診データ分析に基づく健康経営施策の提案

- 健康経営優良法人認定取得支援
- データヘルス計画策定支援
- 広域事業所における共同提案・役割分担
- 身体・こころの産業医支援活動

【特定法人部】

広域事業所の専門部署として運営しておりますが、今までの運営方法をゼロベースで見直し、担当業務の属人的な状態からの脱却、また高騰するコストの削減を行い利益向上に寄与することを進めてまいります。

1) 業務の標準化

年間約数百社の健診受診がありますが、書類発送方法や受診項目など各社一律ではないため業務は複雑で多岐にわたります。前期より属人化業務の洗い出しを行い業務の分散化を進めておりますが、今期も継続して標準作業書の整備、工程管理を行います。これにより複数人での対応が可能となり、また個人の労働時間の平準化が期待できます。

2) 原価の見直し

年間通して約数百個班を実施しておりますが、そのうち、何パーセントかが貸会場(公共施設や民間施設)を使用して健診を実施しております。機密情報の漏洩防止や感染症予防の観点から、今後も貸会場での実施は増えてくると予想されます。年々、会場費用は増加傾向にありますので、このコストを削減すべく会場変更や料金の見直しを含め削減してまいります。

3) 各健保加入事業所との関係強化

各健保加入事業所において様々な理由により脱退する事業所がありますが、脱退後の健康診断も弊社と契約を継続していただけるよう推進してまいります。加入事業所様から引き続き信頼をいただけますよう精度の高い健診を行ってまいります。

【健診部】

[主要業務]

- ・健康診断（会場）の運営、管理全般
- ・健診機器の精度管理、メンテナンス
- ・健診車両の機器管理、運行に関する管理全般
- ・健診スタッフの教育・育成
- ・外注機関との連携

《重点活動》

(1)健康診断を実施するにあたり、会場設営から健診順路、検査・測定において受診者様に満足いただけるような運営面・接遇面での向上を目指してまいります。

また、過去のヒアリハット事例から得られた改善案・対策案の見直しにより、より精度の高い健診運営を推進してまいります。

(2)働き方改革に沿った早出・残業時間の削減施策として、紙のタイムカードによる就業時間管理を廃止し、勤怠システム『Touch On Time』によるリアルタイムな就業時間管理の導入を開始しました。今後は管理体制を強化し、より早く時間外労働の偏りを防止します。労働基準法改正に向けての対応として、過重労働防止に対応したシフト組みや時間内に効率よく作業を終えるための体制づくりに傾注いたします。

(3)渉外推進部との連携による『個班管理会議』を継続し、特定の週、特定の日に個班が集中しないよう日程を調整し年間を通して健診個班の平準化を図ってまいります。

これにより健診の精度を保ちつつ効率的な運用が可能となります。

(4)健診機器の入替を計画的に行い、機器の不備発生を最小限に抑えるとともに、精度向上に努めてまいります。

(5)新入職員を迎え、健診マニュアルを基本とした OJT をしっかり行いどんな健診にも臨機応変に対応出来る人材となるよう育成いたします。また、近年増えている特殊健診に対応できるよう職員をはじめ非常勤スタッフへの教育も推進していきます。

(6)外注機関との連携

広域事業所における年間を通したネットワーク健診の推進には、他機関（巡回健診）との連携が必要不可欠です。委託機関での健康診断実施の健診現場における当会職員の立会いや契約内容の完全履行ができるよう可能な限り書面と対面打ち合わせによる打ち合わせを行ってまいります。

【情報管理部】

□主要業務

- ・ 健診システム（トーマス）の管理・運営
- ・ 全報告書（標準・特殊・専用）の発行および管理
- ・ 基幹サーバおよび全端末の管理
- ・ 読影処理、血液検査委託の管理

□組織

- ・ 結果処理チーム ・ 読影処理チーム ・ 特健処理チーム ・ システム処理チーム

1) 健診システム（トーマス）の安定稼働への取り組み

健診業務を支える重要な基盤となる健診システムの TOHMAS（トーマス）を令和6年4月に導入しました。導入後も継続的な安定稼働の維持に取り組んでまいります。予約管理から健診実施、結果作成・報告に至るまでの業務をシステム上で一元管理することで、業務の効率化と情報の正確性向上を実現し、円滑で確実な健診サービスの提供体制を整えていきます。

運用面においては、システム管理責任体制を明確にし、アカウント管理やマスタ更新、データ取扱いに関する標準手順を整備することで、担当者に依存しない安定した業務運営を実現していきます。また、業務別マニュアルの整備や定期的な操作教育を通じて、職員の運用レベルの平準化を図り、業務品質の維持向上に努めてまいります。

さらに、健診システム提供会社との密な連携体制により、定期的な確認や運用状況の見直しを実施するとともに、障害発生時には迅速な対応が可能な体制を整備してまいります。これ

により、業務への影響を最小限に抑え、継続的かつ安定した健診業務の実施を支えていきます。

これらの取り組みを通じて、健診データの正確な管理と業務品質の安定化を図り、信頼性の高い健診サービスの提供を継続していきます。今後も運用管理の強化と継続的な改善活動を行い、サービス品質のさらなる向上に努めてまいります。

2) 読影レポートシステムの新規導入

読影所見用紙を廃止し、新たに「読影レポートシステム」を導入

- ・ 読影業務のヒューマンエラーを削減
- ・ 過去画像参照と同時に所見結果の経年閲覧が可能
- ・ 健診システムへの判定および所見結果入力 of 自動化
- ・ 品質向上と健診結果の納期短縮が可能

健診業務の品質向上および報告業務の迅速化を目的として読影レポートシステムを令和 7 年 10 月より導入しております。導入後は、運用の安定化を最重要事項とし、以下の体制により継続的な運用管理を実施してまいります。

運用面においては、業務責任部門およびシステム管理部門を明確化し、責任の所在を明らかにした管理体制の構築を行い、読影結果の運用状況を定期的に確認し、業務フローの標準化と属人化防止に努めてまいります。

技術面では、レポートシステム稼働監視、データバックアップ、アクセス権限管理を定期的 to 実施し、情報セキュリティおよびデータ保全体制を確立していきます。万一の障害発生時にも、迅速な切り分けと復旧対応が可能な手順を整備してまいります。

また、継続的な品質向上を図るため、運用状況の定期レビューを実施し、読影業務の効率化やレポート結果の品質改善につながる見直しを行っていきます。これにより、結果報告精度の標準化と提供スピードの向上を実現してまいります。

【総務部】

□主要業務

- ・経理関連
- ・総務関連
- ・収益管理

□組織

- ・経理チーム ・総務チーム ・上板橋担当（令和6年8月開設より）

1）事業全体の収支管理

受託内容毎（「巡回健診事業」、「事務センター事業」、「特定保健指導」、「ネットワーク健診事業」）の収支管理を適切に行ってまいります。

2）新社屋への対応

令和8年3月現在上板橋・池袋の2拠点で業務を行っております。令和8年10月に完成予定の要町の新社屋について、移動や仕様等について引き続き検討していきます。

3）BCP（事業継続計画）の策定と運用

職員の安全確保および事業継続体制の強化を目的として、安否確認サービス導入に向けた取り組みを進めております。

本サービスの運用により、災害発生直後における従業員の安否状況を迅速かつ網羅的に把握し、初動対応の遅延や情報錯綜といったリスクの低減を図ることが可能になります。

運用開始段階として利用方法の周知を行い、BCPに基づく対応体制の強化を図ってまいります。

【事務センター】

□主業務

- ・ 契約代行
- ・ 事務代行
- ・ 全国の健診機関の管理と標準フォーマットによる結果管理
- ・ 全事業所の特殊健診集約化のための業務検証
- ・ 全国の健診機関のパニック値発生初報連絡受付および事業所への即時連携

□組織

- ・ 契約代行 T
- ・ 事務代行 T(予約、結果、請求、立替、保健指導、感染症、歯科、情報処理、配送、その他)
- ・ 特殊健診対応 T

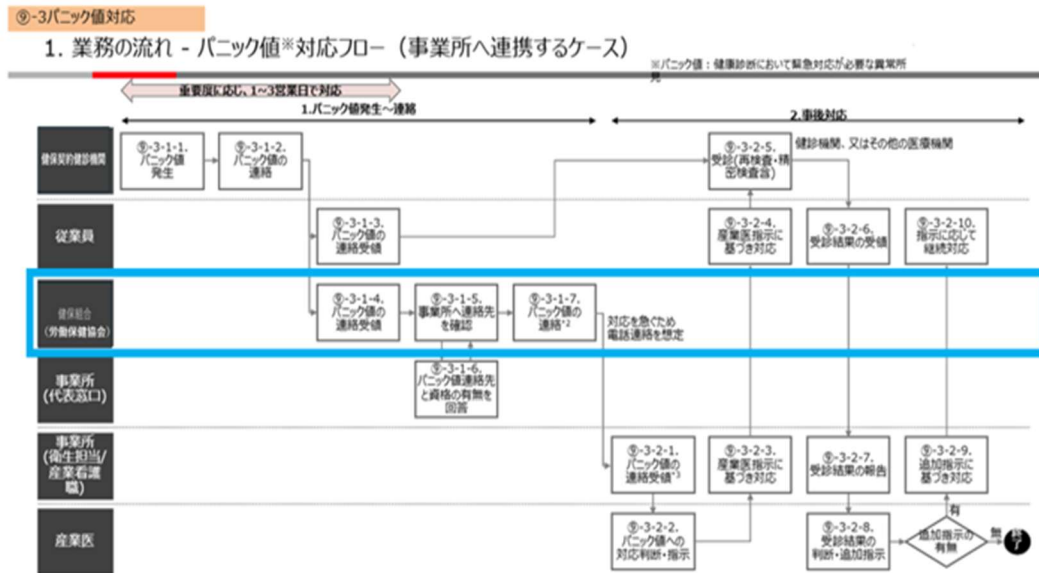
1) 特殊健診対応（大手健保様との連携プロジェクトとして）

- ・ 令和 8 年度 先行対応事業所および健診機関との業務検証およびシステム構築
- ・ 令和 8 年度 全国の特殊健診実施健診機関との契約締結準備

2) パニック値の対応

- ・ 健診機関へパニック値発生時の初報連絡依頼および周知徹底
- ・ 早期対応のための体制作り

青囲い：事務センター担当役割



【品質保証室】

□主要業務

- ・全社的な品質の維持・向上を目的にリスクマネジメント
 - ・内部監査、外部監査の準備と対応
 - ・全衛連労働衛生サービス機能評価対応
 - ・プライバシーマーク更新の準備と対応
 - ・職員教育計画立案
- 1) 令和8年9月予定の9回目プライバシーマーク更新審査準備と対応
 - 2) 全衛連「労働衛生サービス機能評価制度」審査に向けた準備（令和9年予定）
 - 3) 全衛連主催セミナー等による健診事務職員の教育計画立案

2. 各種研修会、講習会計画

- ① 令和8年4月 新入職員個人情報保護研修・安全衛生教育研修会
- ② 令和8年6月 第61回定時社員総会
講演会予定
- ③ 令和8年10月 職員研修会
- ④ 令和8年12月 第24回年末研修会
個人情報保護継続教育研修会
労働衛生関連講演会 全常勤役職員 外部協力機関等

3. 各精度管理への参加計画

検査精度の向上を図るため公益社団法人 全国労働衛生団体連合会（全衛連）が主催する精度管理調査に継続的に参加

- ① 令和8年度胸部エックス線検査精度管理調査
- ② 令和8年度胃部エックス線検査精度管理調査
- ③ 令和8年度労働衛生検査（鉛・有機溶剤に係わる生物学的モニタリング検査）精度管理調査
- ④ 令和8年度臨床検査精度管理調査

4. 講習会、研究会 労働衛生思想の普及啓蒙、並びに労働安全に関する指導・協力

- ① 令和8年10月 「産業保健フォーラム IN TOKYO 2026」に協力
【主催：東京労働局、（公社）東京労働基準協会連合会、東京産業保健総合支援C】
- ② 令和8年11月 「令和8年度 港地区健康と安全推進大会」に協力
【主催：三田労働基準監督署、（一財）三田労働基準協会】

5. 会議の開催計画

全理事会 ●令和8年5月下旬

- ① 令和7年度事業報告（案）承認の件
- ② 令和7年度財務諸表等および公益目的支出計画実施報告書（案）承認の件
- ③ 第61回定時社員総会開催の件

●令和8年10月下旬

- ① 令和8年度上期事業報告について
- ② 令和8年度下期事業計画（案）ならびに修正予算（案）承認の件

●令和 9 年 3 月下旬

- ① 令和 8 年度下期業績見込・年間業績見込
- ② 令和 9 年度事業計画（案）・予算（案）承認の件
- ③ 短期資金調達計画に関する件
- ④ 役員賠償責任保険継続加入に関する件

社員総会 第 61 回 定時社員総会 令和 8 年 6 月下旬

【報告事項】

- ① 令和 7 年度事業報告
- ② 令和 8 年後事業計画について
- ③ 令和 8 年度収支予算について

【決議事項】

- ① 令和 7 年度財務諸表等および公益目的支出計画実施報告書承認の件

その他の会議

○常勤理事会		
○各部報告会		
○ライン会議		
○品質保証委員会		
1) CS・ES 委員会		
2) リスクマネジメント委員会		
3) 医療情報技術委員会		
4) 感染症対策部会		
○安全衛生委員会		
○機関紙編集委員会		
○個人情報保護委員会		
○精度管理委員会		
○自主監査部会		

毎月

適宜